

コラボレーション一覧

1 伝統工芸 青山スクエア 伝統工芸 青山スクエア × 奥会津編み組細工(福島)	2 ∞ ブレインビープル青山 × 山中漆器(石川)	3 VA-VA CLOTHING & VARIETY × 久留米餅(福岡)	4 かまわぬ 原宿店 × 本場大島紬(鹿児島)	5 REAL Style リアルスタイル 青山店 × 江戸切子(東京)
6 CPcm CPCM 原宿 × 天草陶磁器(熊本)	7 玉川堂 青山店 × 甲州印伝(山梨)	8 西洋民芸の店 グランビエ × 二風谷アットウシ 二風谷イタ(北海道)	9 Attractions Attractions × 波佐見焼(長崎)	10 sarasa design lab sarasa design lab 青山店 × 小石原焼(福岡)
11 TOKYO FANTASTIC OMOTESANDO × 別府竹細工(大分)	12 ANDO 安藤七宝店 × 堺打刃物(大阪)	13 ∞ ブレインビープル 東急プラザ銀座 × 小石原焼(福岡)	14 ∞ ブレインビープル 日本橋高島屋5.C. × 小代焼(熊本)	15 鳩居堂 東京鳩居堂 銀座本店 × 江戸切子(東京)
16 玉川堂 銀座店 × 京指物(京都)	17 AKOMEYA AKOMEYA TOKYO 銀座本店 × 大阪波華鋳器(大阪)	18 genten genten 銀座店 × 阿波和紙(徳島)	19 genten genten monocooco GINZA SIX × 土佐和紙(高知)	20 Noritake ノリタケ・大倉陶園 銀座店 × 榎細工(秋田)
21 かまわぬ 浅草店 × 本場大島紬(鹿児島)	22 カキモリ 越前和紙(福井)	23 ink stand inkstand by kakimori × 奈良筆(奈良)	24 REN independent bag manufacturer REN × 羽越しな市(山形・新潟)	25 Maito Design Works 信楽焼(滋賀)
26 SyuRo 南木曾ろくろ細工(長野)	27 AKOMEYA AKOMEYA TOKYO in la kagū × 大館曲げわっぱ(秋田)	28 SML SML × 小代焼(熊本)	29 sinajina 品品 × 伊万里・有田焼(佐賀)	30 MARKUS MARKUS × 丹波立杭焼(兵庫)
31 Roundabout Roundabout × 雄勝硯(宮城)	32 HANSEL & GRETEL HANSEL & GRETEL 成城本店 × 砥部焼(愛媛) 天草陶磁器(熊本)			

■ 青山・原宿・表参道エリア
■ 銀座・日本橋エリア
■ 浅草・蔵前エリア
■ 神楽坂・中目黒・自由が丘エリア
■ 吉祥寺・代々木上原・成城エリア

【メイン会場】 伝統工芸 青山スクエア(東京都港区赤坂 8-1-22)
東京メトロ、都営地下鉄「青山一丁目」4番北出口より徒歩3分

【各会場】 東京各店舗内(港区エリア・中央区エリア・その他エリア)

【主催】 一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会
〒107-0052 東京都港区赤坂8-1-22
TEL:03-5785-1001 FAX:03-5785-1002

【後援】 経済産業省 / 独立行政法人 中小企業基盤整備機構

伝統的工芸品の魅力、発見!

JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2019

10.18 FRI - 10.31 THU

JAPAN
TRADITIONAL
CRAFTS
WEEK
2019

伝統的工芸品の魅力、発見!

JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2019



日本各地の伝統的工芸品に、
都内で出逢う特別な2週間。

JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEKは、

日本各地で作られる伝統的工芸品を

都内32のライフスタイルショップで紹介し、

「創り手」「売り手」「使い手」をつなぐ

伝統的工芸品の応援イベントです。

開催期間中はコラボレーションした伝統的工芸品の展示販売や

実演等を行うほか、各店舗を巡るスタンプラリーを実施。

メイン会場といくつかの店舗では、

製作実演やワークショップを実施します。

このイベントが、国内の優れた伝統を守り受け継いでいく

一本の架け橋となりますように。

いつもの街で、いつものお店で、

ニッポンのもののづくりに触れてください。



●奥会津編み組細工 (福島県)

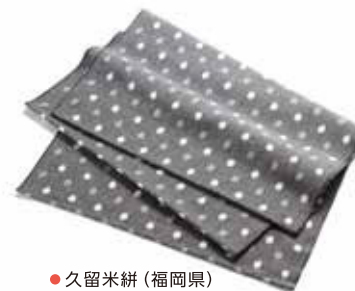


●榊細工 (秋田県)

●江戸切子 (東京都)



●砥部焼 (愛媛県)



●久留米絨 (福岡県)



●小代焼 (熊本県)

JAPAN
TRADITIONAL
CRAFTS
WEEK
2019

全体開催期間 令和元年10月18日(金)～10月31日(木)

【メイン会場】 伝統工芸 青山スクエア (東京都港区赤坂 8-1-22)
東京メトロ、都営地下鉄「青山一丁目」4番北出口より徒歩3分

【各会場】 東京各店舗内 (港区エリア・中央区エリア・その他エリア)

【主催】 一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会
〒107-0052 東京都港区赤坂 8-1-22
TEL:03-5785-1001 FAX:03-5785-1002

【後援】 経済産業省 / 独立行政法人 中小企業基盤整備機構

※JTCWでは、国指定伝統的工芸品の技術技法を活かした新しい商品も展示販売します。

ニッポンの 伝統工芸に 出逢う。

時代が移り変わっていくなかで、残していきたい日本のものづくりがあります。

歴史と伝統に育まれ、生み出された名品の数々。

その「技」と「美意識」、そして「ものづくりの精神」は

日本各地の職人により守り伝えられ、

伝統的工芸品というかたちで愛され続けています。

3つの輪が重なるJAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEKのイベントロゴ。

それぞれの輪は日本が誇る伝統的工芸の「創り手」「売り手」「使い手」を意味します。

この3つの輪がつながることで、日々の暮らしの中で

もっと日本の工芸品を使っていただきたい、日本のものづくり技術や文化を

後世に残していきたいという思いが込められています。

創り手から売り手、売り手から使い手。

このイベントがこうした伝統を守り受け継いでいく1本の架け橋となりますように。

創り手

売り手

使い手

ハレの日ギフトを探しに、
自分の愛用品を求めに、
暮らしにとけ込む道具を探しに、
都内を歩いてみませんか？

100年以上守り伝えられてきた名品の数々を、

大切な人の日常を潤すギフトとして、

日本文化に惹かれる海外の友人へのコミュニケーションツールとして、

自分らしい毎日にとけ込む道具として…。

日々の暮らしの中で気軽に「贈る楽しみ」「愛用する楽しみ」を

都内32のライフスタイルショップを巡って、探してみませんか？



●久留米餅（ふろしき） ●大阪浪華錫器（カップ） ※写真はイメージです。

AOYAMA AND OMOTESANDO

青山・原宿・表参道エリア

美術館やギャラリーがひしめく、
文化と流行の発信地



SHOP LIST

- 伝統工芸 青山スクエア × 奥会津編み組細工 (福島)**

東京都港区赤坂8-1-22 1F
TEL:03-5785-1301 <https://kougeihin.jp/>

【営業時間】11:00~19:00
18日は12:00開店/31日は18:00開店
【期間中の休業日】10/22 (火)

工芸品専門店
- プレインピープル青山 × 山中漆器 (石川)**

東京都港区南青山5-3-5
TEL:03-6419-0978 <http://www.one-be-one.com/>

【営業時間】10:30~20:00
【期間中の休業日】無休

アパレル
- VA-VA CLOTHING&VARIETY × 久留米絨 (福岡)**

東京都渋谷区神宮前5-45-6 1F
TEL:03-6434-1373 <http://www.va-va.jp>

【営業時間】12:00~20:00
【期間中の休業日】10/23 (水)、10/29 (火)

セレクトショップ
- かまわぬ 原宿店 × 本場大島紬 (鹿児島)**

東京都渋谷区神宮前1-10-10 太田記念美術館B1
TEL:03-3401-7957 <https://kamawanu.co.jp>

【営業時間】10:30~19:00
【期間中の休業日】無休

ライフスタイル
- リアルスタイル 青山店 × 江戸切子 (東京)**

東京都渋谷区渋谷2-1-13 2F
TEL:03-6450-6972 <https://www.real-style.jp/>

【営業時間】11:00~19:00
【期間中の休業日】10/23 (水)、10/30 (水)

ライフスタイル
- CPCM 原宿 × 天草陶磁器 (熊本)**

東京都渋谷区神宮前6-12-22 秋田ビル1F
TEL:03-3406-1104 <http://cpcm-shop.com/>

【営業時間】12:00~21:00 (月~金)
11:00~20:00 (土・日)
【期間中の休業日】無休

セレクトショップ
- 玉川堂 青山店 × 甲州印伝 (山梨)**

東京都港区南青山5-11-5 住友南青山ビル1F
TEL:03-5778-3020 <https://www.gyokusendo.com>

【営業時間】11:00~19:00
【期間中の休業日】10/22 (火)
10/29 (火)

鋳造銅器専門店
- 西洋民芸の店 グランピエ × 二風谷アットウシ・二風谷イタ (北海道)**

東京都渋谷区神宮前3-38-12 パズル青山1F
TEL:03-3405-7269 <http://www.granpie.com>

【営業時間】12:00~20:00
【期間中の休業日】無休

ライフスタイル・専門店
- Attractions × 波佐見焼 (長崎)**

東京都渋谷区神宮前4-32-4 サンエムビル2F
TEL:03-3408-0036 <https://attractions.co.jp>

【営業時間】11:00~19:00
【期間中の休業日】無休

ファッション雑貨
- sarasa design lab 青山店 × 小石原焼 (福岡)**

東京都港区北青山2-11-16
TEL:03-6447-0131 <http://www.sarasa-design.com>

【営業時間】11:00~18:30
12:00~18:30 (土・日)
【期間中の休業日】10/22 (火)、10/29 (火)

ライフスタイル
- TOKYO FANTASTIC OMOTESANDO × 別府竹細工 (大分)**

東京都港区南青山3-16-6
TEL:03-3478-8320 <https://tokyofantastic.jp>

【営業時間】12:00~19:00
【期間中の休業日】10/23 (水)、10/30 (水)

ライフスタイル

MAIN EVENT VENUE

伝統工芸 青山スクエア

JAPAN TRADITIONAL CRAFTS AOYAMA SQUARE

地下鉄「青山一丁目」駅4番北出口より徒歩3分。

染織品・陶磁器・木工品・金工品・和紙など、全国各地の産地からおよそ6,000点が並びます。

スタンプラリーの
最終地点



6,000点の
伝統工芸品が
ズラリ!

ワークショップ

山ぶどうのツルを編んでストラップを作ります。

10/18(金)・19(土)・20(日)・26(土)

受付各日11:00~18:00

所要時間: 約50分

参加費: 900円

実演・
ワークショップも
盛りだくさん!

実演

ヒロロの手提げづくり

10/26(土)



- 開館時間: 11:00~19:00
初日の10/18(金)は12時開館
最終日の10/31(木)は18時閉館

- 休館日: 10/22(火)
- 詳しくはJTCWサイト、青山スクエアのページをご覧ください。



一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会

当協会は、日本の伝統的工芸品産業を振興するため1975年に経済産業省の支援を受けて設立されました。日本各地には陶磁器、漆器、染織、和紙など多様な工芸品があり、なかでも経済産業大臣の指定を受けた伝統的工芸品は現在232品目あります(2018年11月7日現在)。当協会は、各種事業を通し伝統的工芸品産業の振興を図るとともに、産地と使い手をつなげる「伝統工芸 青山スクエア」を運営しています。

1

奥会津編み組細工

おくあいづあみくみざいく [OKU-AIZU-AMIKUMI-ZAIKU]

福島

豪雪地帯で生まれた、 自然素材を生かした生活用品

日本中の伝統工芸品に出逢える「伝統工芸 青山スクエア」。今年のJTCWでは、福島県の「奥会津編み組細工」を特集します。山ぶどうやヒロロ、マタタビなど、奥会津の自然豊かな山あいでは採れた素材を活かして編んだ籠バッグや小物などを、ぜひご覧ください。



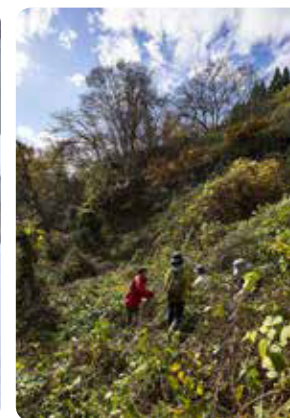
マタタビ
米ときざル



山ぶどう
手提げ籠

奥会津編み組細工を 生み出す場所、人々。

積雪期の手仕事として受け継がれ、発展を遂げてきた奥会津の編み組細工。山ぶどうの皮、ヒロロ、マタタビの蔓や枝など身近な植物を材料に、手さげ籠、背負い籠、菓子器、ざるなどの生活用品が作られています。自然素材を生かした堅牢さと、時を重ねるほどに増していく艶が、多くの使い手に愛されています。



© Local Creators' Market



2

山中漆器

やまなかしっき
[YAMANAKA-SHIKKI]

石川

ライフスタイルを輝かせる、 木地や木目の味わいを感じる漆器

400年の歴史をもつ、山中温泉地区（石川県加賀市）を発祥とする漆器です。その特徴は、「ろくろ挽き」という技法で、古典的な味わいにモダンな感覚が調和した生活用品として人気があります。今回は、浅田漆器工芸が提案する、生活を豊かにする洋風の食器や漆器では珍しいプラントポットなどを集めました。

●10/20(日)・21(月) 各日11:00～16:00 蒔絵の実演を開催



プレインピープル 青山

大きなウィンドウが目目をひく青山店は、イベントがもっとも多く開催されるフラッグシップ店。ミュージアムと家が融合したような内装が特徴で、根津美術館に近いことからアートに興味のあるお客様もたくさん訪れます。

3

久留米絣

くるめがすり [KURUME-GASURI]

福岡

庶民の普段着から発展した絣を使用。 着心地、履き心地抜群のウェア

福岡県久留米市とその周辺で織られる、丈夫な紺絣です。藍で染めた綿糸を使用し、紺地に白または青抜きの細かい絣柄が特徴。明治から大正にかけては庶民の普段着として愛用されていましたが、現在は十字や亀甲といった伝統的な幾何学模様のほか、絵模様の絣も織られています。今回は、「日本製のもののづくりを伝える」をテーマに、素材やシルエット、縫製などにこだわった久留米絣のウェアを紹介します。



VA-VA CLOTHING & VARIETY (バーバクロージング & パラエティ)

MADE IN JAPANの商品を集めたセレクトショップです。日本製にこだわった日本のブランドやプロダクトを中心に、九州や沖縄の陶器と吹きガラスなどを取りそろえています。

4

本場大島紬

ほんばおしまつむぎ
[HONBA-OSHIMA-TSUMUGI]

鹿児島

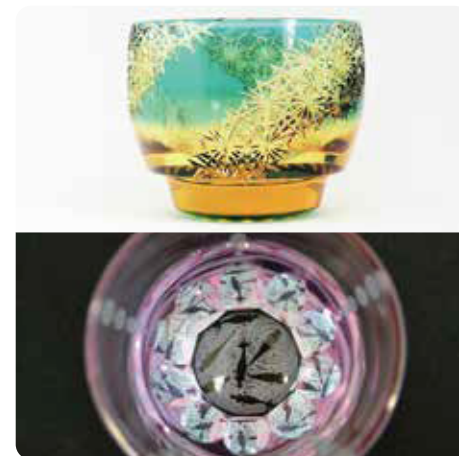
奄美大島の泥染め職人と、 手ぬぐい専門店がコラボ

約1,300年の歴史をもつ、奄美大島（鹿児島県）発祥の絹織物。しなやかで光沢感のある絹糸は、泥で糸を黒く染める「泥染め（どろぞめ）」の技法によって作られます。今回は染色の部分にスポットを当て、かまわぬと金井工芸のコラボレートで新しくてぬぐいを紹介いたします。かまわぬオリジナルのてぬぐいを泥染めや藍染でオーバーダイ（後染め）した、天然染色の風合いをご覧ください。



かまわぬ 原宿店

原宿の路地裏にある、太田記念美術館の地下1階にある、小粋な手ぬぐい専門店です。外国人観光客でにぎわう店内には、手染めの手ぬぐいと、季節の雑貨が所狭しと並べられています。



5

江戸切子

えどきりこ [EDO-KIRIKO]

東京

江戸の町民が生み出した、 光をまとう現代のガラスアート

江戸の天保年間、海外から持ち込まれたガラス製品に、日本の職人が紋様を刻み込んだのがその始まり。金属製の円盤や砥石などを使って、さまざまな模様を切り出す技法は今も受け継がれ、東京で切子加工をされたガラス製品を総称して「江戸切子」と呼んでいます。今回は、2つの工房による日本の四季や風物を現代的な感覚で表現したグラスやお皿、「平切子」という技法を用いたモダンなデザインのグラスなどを紹介します。



リアルスタイル 青山店

「上質だけど、華美でない」「簡素なのに、贅沢」そんな日本ならではの美意識や感性を大切にした大人たちのインテリアショップ。上質な素材と美しく繊細な仕上がりから生まれる贅沢な心地よさ。そこに居るだけで豊かさを感じる「日常」をお届けします。



6

天草陶磁器

あまくさとうじき [AMAKUSA-TOJIKI]

熊本

日常生活に寄り添った 素朴な風合いの陶器

良質な陶石と陶土を使って焼かれる天草地方の陶磁器です。窯元ごとに異なる、個性のある製品が作られているのが特徴。透き通るような純白の磁器や、釉薬（ゆうやく）を二重掛けして色の複雑さと深みを出した陶器などがよく知られています。今回は歴史の長い丸尾焼と、国内外で修業をして2014年に開窯した森山陶器の器を紹介。日常生活に寄り添う、素朴でやさしい風合いをお楽しみください。



CPCM 原宿 (シーピーシーエム)

作り手の温もりが感じられる商品、10年後にはヴィンテージになるであろう商品を展開しています。国内外より独自にセレクトしたメンズ・レディースのウェアを中心に、大切に使い続けていきたいと思える器などを取りそろえています。

..... AOYAMA AND OMOTESANDO

7

甲州印伝

こうしゅういんでん [KOSHU-INDEN]

山梨

使い込むほど手に馴染み、 愛着が増す革工芸品

鹿の皮をなめし染色して、表面に漆（うるし）で模様を描いた革工芸です。その特徴は、丈夫で軽くやわらかいこと。漆は時間が経つほど色がさえ、深みのある落ち着いた光沢をもちます。今回の展示では、定番の合切袋（がっさいぶくろ）や小物入れ、限定品の携帯靴べらケースや煙管入れなどを紹介します。

●10/19（土）・20（日）各日12:00～17:00 印鑑ケース製作のワークショップを開催（更紗による鹿革の柄付けをし、金具をつけます）
※予約制となります。お問い合わせ先 玉川堂 青山店



玉川堂 青山店

金“錠”で打ち、“起”こしながら器を作り上げていく新潟の「錠起銅」器。当店は、創業より200年にわたって新潟・燕三条で銅器製作一筋に歩んできました。茶器や酒器を中心に、日常使いの銅器をご案内します。

8

二風谷アットウシ

にぶたにあつとうし [NIBUTANI-ATTUSI]

北海道

アイヌの伝統を受け継いだ 天然素材ならではの風合い

北海道・アイヌ文化に受け継がれてきたオヒョウやシナなどの樹皮を、複雑な工程を経て加工、糸積み、よりをかけた糸を織り上げた反物のことで、それを仕立てた着物もアットウシと呼んでいます。丈夫で水にも強く、長く付き合うほかに、天然素材ならではの風合いが増してくるのが大きな魅力です。今回はこのプリミティブな繊維を使った、日常に使えるクラフトを展示。テーブルの中央に敷くテーブルセンター、コースター、カードケースなどを紹介します。



●アットウシ・カードケース



●アットウシ・コースター



●アットウシ・テーブルセンター



二風谷イタ

にぶたにいた [NIBUTANI-ITA]

北海道アイヌ×中央アジア 異文化の魅力を感じる場に

カツラやクルミの木を材料とした平たい形状のお盆です。モレウノカ（渦巻の形）、アイウシノカ（トゲのある形）、シクノカ（目の形）、ラムラムノカ（ウロコ文様）などに代表される、アイヌ文様が表面全体に彫り込まれているのが特徴。今回は、日々の暮らしに使いやすいものを中心に、角盆などを紹介します。大陸の原始的なデザインと共通する大自然の中で育まれたアイヌの力強い工芸品を、お楽しみください。

●イタ（小角盆）



西洋民芸の店 グランピエ

1971年、京都でオープンした西洋民芸店の青山店。スペイン、中南米、インド、東南アジア、中近東などに伝わるクラフトを買い付け、企画・販売。オリジナルの服、カトラリー、オールドの家具やラグなど、手仕事の楽しい品々が並んでいます。



9

波佐見焼

はさみやき [HASAMI-YAKI]

長崎

現代の暮らしにも調和する 丈夫な普段使いの器をモダンに表現

長崎県波佐見町付近で生産されている陶磁器です。透けるような白磁の美しさと、青い「呉須(こす)」で絵付けされた「染付」の繊細で深い味わいが主な特徴。茶碗や皿など、丈夫で壊れにくい日常食器が多く生産されています。今回の展示では、白磁のカンバスに、無骨でありながら愛嬌あるデザインを描いたユニークなコラボレーションが実現。400年以上前から受け継がれてきた伝統的な製法と、現代の感覚が結びついた新しい波佐見焼をご覧ください。



Attractions (アトラクションズ)

原宿を拠点とするメンズアパレルブランド「WEARMASTERS」のヘッドショップ。1930～50年代のクラシカルなテイストをコンセプトとし、メイドインジャパンの品質にこだわった個性的で力強いスタイルを提案します。

10

小石原焼

こいしわらやき [KOISHIWARA-YAKI]

福岡

使うほどに愛着が増す、 現代の食卓に合うモダンな器

福岡県東峰村で焼かれている陶器で、主に生活の中で使われる日用雑器が生産されています。「刷毛目(はけめ)」や「飛び鉋(かんな)」といった伝統的な幾何学模様が描かれているのが特徴。素焼きを行わずに釉薬(ゆうやく)を流しかけて焼き上げます。使うほどに愛着が増す、あたたかみのあるやさしい風合いが人気。今回は現代の食卓に合うカネハ窯のモダンな器を紹介します。

●10/20(日)11:00～17:00 ろくろ実演と飛び鉋のワークショップを開催



sarasa design lab 青山店(サラサ デザイン ラボ)

「こういうものがあたらしいのに。」という、素朴な思いをカタチにするプロダクトショップ sarasa designの青山直営店。現代の暮らしに最適な、機能的でシンプルな美しい日用品を提案します。



11

別府竹細工

べっふたけざいく [BEPPU-TAKE-ZAIKU]

大分

温泉街から広まった、 緻密な編み目の竹工芸

大分県別府市を中心に製作されている竹工品です。起源は室町時代に作られていた行商用の籠で、江戸時代以降、湯治客が使用する台所用品や土産物として全国に広まったと伝えられています。主な材料は、編み組みに適した大分県産のマダケ。今回は、アンティーク着物の布を使った「お座敷バッグ」やアクセサリなど、4名の女性作家によるアイテムを扱います。

●10/19(土)12:00～18:00 カゴの製作実演



TOKYO FANTASTIC OMOTESANDO (トウキョウ ファンタスティック オモテサンドウ)

日本の作家・職人の手仕事による「いいもの雑貨」の魅力があふれる、ライフスタイルストアです。店内にはドライフラワーの花束やリース、豊富な花材が並び、陶磁器、ガラスの器、ハンドメイドアクセサリ、伝統的工芸品などを取りそろえています。

..... AOYAMA AND OMOTESANDO

Column

BUYERS REPORT

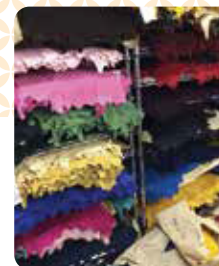
甲州印伝 × 玉川堂 青山店

すべてが手づくり！ 手間の多さと、技術力の高さに脱帽

甲府駅から歩いて15分ほどの閑静な場所に、「印伝の山本」の店舗兼工房がありました。店頭に並んでいたのは、甲州印伝の鞆、合切袋、財布、小物入れなど…。染色された革から製品になるまでの流れを説明していただいた後は、工場での革の裁断と漆付けの作業を見学。すべての工程が手作業で、たいへん手間がかかっていることに驚かされました。とくに漆付けは、力を均等に加えないと漆がきれいに乗らないとのこと。19日、20日のワークショップでは、職人さん方の技術の高さを実感していただきたいです。



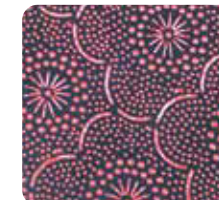
漆付



いろいろな生地や型紙が用意されています。「印伝の山本」の強みは、製品のバリエーションの豊富さ。20色以上の革、4色以上の漆、200種類以上の伊勢型紙を持ち、小ロットの製作にも対応しています。



硬化



出来上がり

GINZA AND NIHONBASHI

銀座・日本橋エリア

最旬トレンドと伝統が調和する
東京を代表する繁華街



SHOP LIST

- | | | |
|----|---|--|
| 12 | 安藤七宝店 × 堺打刃物 (大阪)
東京都中央区銀座5-6-2
TEL:03-3572-2261 http://www.ando-shippo.com | 七宝専門店
【営業時間】10:00~18:30 (月~金)
10:30~18:30 (土・日)
【期間中の休業日】無休 |
| 13 | プレインピープル 東急プラザ銀座 × 小石原焼 (福岡)
東京都中央区銀座5-2-1 東急プラザ銀座3F
TEL:03-6264-5418 http://www.one-be-one.com/ | アパレル
【営業時間】11:00~21:00
【期間中の休業日】無休 |
| 14 | プレインピープル 日本橋高島屋S.C. × 小代焼 (熊本)
東京都中央区日本橋2-5-1 日本橋高島屋S.C.新館3F
TEL:03-5542-1598 http://www.one-be-one.com/ | アパレル
【営業時間】10:30~20:00
【期間中の休業日】無休 |
| 15 | 東京鳩居堂 銀座本店 × 江戸切子 (東京)
東京都中央区銀座5-7-4
TEL:03-3571-4429 http://www.kyukyodo.co.jp/ | 香・和文具専門店
【営業時間】10:00~19:00 (月~土)
11:00~19:00 (日・祝)
【期間中の休業日】無休 |
| 16 | 玉川堂 銀座店 × 京指物 (京都)
東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 4F
TEL:03-6264-5153 https://www.gyokusendo.com | 鉦起銅器専門店
【営業時間】10:30~20:30
【期間中の休業日】無休 |
| 17 | AKOMEYA TOKYO 銀座本店 × 大阪浪華錫器 (大阪)
東京都中央区銀座2-2-6
TEL:03-6758-0270 https://www.akomeya.jp/store_info/store/sginza/ | ライフスタイル
【営業時間】11:00~20:00 (月~木・日)
11:00~21:00 (金・土)
【期間中の休業日】無休 |
| 18 | genten 銀座店 × 阿波和紙 (徳島)
東京都中央区銀座4-6-1
TEL:03-3561-0115 https://genten-life.kuipo.co.jp | ライフスタイル
【営業時間】11:00~20:00
【期間中の休業日】無休 |
| 19 | genten monococoro GINZA SIX × 土佐和紙 (高知)
東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 4F
TEL:03-3573-7550 https://genten-life.kuipo.co.jp | ライフスタイル
【営業時間】10:30~20:30
【期間中の休業日】無休 |
| 20 | ノリタケ・大倉陶園 銀座店 × 樺細工 (秋田)
東京都中央区銀座3-4-12 文祥堂銀座ビル2F
TEL:03-3567-6121 https://tableware.noritake.co.jp/ | テーブルウェア
【営業時間】11:00~19:30
【期間中の休業日】無休 |



12

堺打刃物

さかいうちものはもの
[SAKAI-UCHIHAMONO]

大阪

プロの料理人が選ぶ 伝統の切れ味と耐久性

堺市で発達した技術や製法で作られた刃物製品です。その伝統的な技法（火造り、刃付け、研ぎなど）は刀鍛冶をルーツとし、この地は全国有数の刃物産地として知られています。刺身包丁、薄刃包丁、出刃包丁など、用途に応じてさまざまな種類の包丁があり、国内外のプロの料理人が使用。今回の展示では、プロ仕様の包丁から一般家庭に適したものまで紹介します。



安藤七宝店

創業139年、確かな技術で製造された七宝の逸品から現代作家のアクセサリまで、七宝の魅力余すところなく伝える専門店です。お世話になった方への贈答品、外国へのお土産、季節のインテリア、ご自分へのご褒美などいかがでしょうか。

13

小石原焼

こいしわらやき
[KOISHIWARA-YAKI]

福岡

TEA or COFFEE ? くつろぎを彩るカップ

350年の歴史を持つ小石原焼は福岡県の山中、東峰村で作られており、飛び鉋は代表的な技法の一つです。素朴な味わいを持ち、飲食器を中心に生活の中で使われています。今回は5つの窯元にカップをテーマに作陶をお願いしました。貴方のお好きな飲み物に合う、そして手にしっくりとくるカップを是非探してください。

●10/18(金)・19(土) 各日11:00～16:00 ろくろ実演を開催(予定)



プレインピープル 東急プラザ銀座

“自然体で心地よく生きたい”、そんな思いから生まれたライフスタイルのお店です。ギャラリーのような空間に並ぶのは、オリジナルの服、ファッション雑貨、無添加・オーガニック素材の調味料や食品など。東京メトロ銀座駅に直結しているので、アクセスも便利です。

14

小代焼

しょうだいやき [SHODAI-YAKI]

熊本

芸術性の高い模様が描かれた 大胆にして繊細な作風

400年の歴史をもつ陶器で、荒尾市、熊本市、南関町、宇城市など熊本県の北部で焼かれています。その特徴は、鉄分の多い良質な陶土を使った、素朴で力強い作風。釉薬（ゆうやく）の割合割合などによってその色合いは微妙に変化し、釉薬の「流し掛け」によって芸術性の高い模様が描かれます。今回は、小代瑞穂窯の窯元、福田るいさんが作った器を集めました。大胆にして繊細な作風をご堪能ください。



プレインピープル 日本橋高島屋S.C.

オリジナルの服を中心とした、衣食住ライフスタイル提案型のコンセプトストアです。月1回のペースで、器の個展などのポップアップストアを開催。お店は、昨年9月にオープンした日本橋高島屋の新館3階にあります（高島屋本館にもつながっています）。



15

江戸切子

えどきりこ [EDO-KIRIKO]

東京

江戸時代より受け継がれてきた 粹で多彩な切子デザイン

江戸時代の後期、海外から持ち込まれたガラス製品の表面に、日本の職人が紋様を刻み込んだのがその始まりだと言われています。「江戸切子」とは、切子細工をされたガラス製品の総称。その技法は職人たちによって受け継がれ、現在でも昔ながらの手作業により、コップ、花器、などが製作されています。今回の展示では、ハレの日の食卓を彩るテーブルウェアなどもご紹介します。

●10/25(金)・26(土) 各日11:00～17:00 実演を開催
(お買い上げいただいた江戸切子の商品にお名前をお入れします)



東京鳩居堂 銀座本店

1663年に京都で創業した、香と和紙、和文具を扱う専門店です。“日本の伝統文化を守り育てる”を理念とし、季節感大切に、使う人の心や生活が、少し豊かになるような上質な商品づくりをめざしています。



16

京指物

きょうさしもの [KYO-SASHIMONO]

京都

平安時代に始まる木工芸を
現代の暮らしに…

京指物の特徴は、その技法の豊富さと千年の都「京都」で育まれた優れたデザイン性にあります。平安時代の貴族文化に起源をもつ家具調度品から茶道具類、美術工芸品にいたるまで木工芸の様々な技を幅広く駆使して作られています。木肌の美しさや樹木の性質を活かし、さらに鍔金具や絵付け、蒔絵など他の伝統技術を取り入れて作られた工芸品です。今回は現代の暮らしにもあった身近な実用品を中心に取り上げます。



玉川堂 銀座店

創業より200余年、新潟・燕三条で鋳起銅器製作一筋に歩んできました。茶器や酒器を中心に、日常使いの銅器を扱っています。400枚の銅板を職人が叩いて製作した銀座店の内装もぜひご覧ください。

17

大阪浪華錫器

おおさかなにわすずき
[OSAKA-NANIWA-SUZUKI]

大阪

金属でありながら
人の手のぬくもりを感じられる器

大阪で製造されている錫(すず)の器です。錫はやわらかく機械加工しにくい素材のため、鑄込み、口クロ引き、接合、仕上げという製造工程は、ほとんど人の手によって行われます。また、かつて金や銀に並び価値をもっていた錫は、さびることのない安定した金属。イオン効果が高く、水の浄化作用もあるので、酒器や花瓶に最適です。今回は、おすすめの日酒と共に、大阪浪華錫器の酒器を紹介します。



●10/19(土)・20(日) 各日11:00~17:00 樋目打ちの実演とワークショップを開催



AKOMEYA TOKYO 銀座本店 (アコメヤ トウキョウ)

AKOMEYA TOKYOの願いは、食品・雑貨・厨房から「お福分けのこころ」を通して、こだわりがもたらす幸せを、すべての人と分かち合うこと。全国各地から厳選したお米や食品、雑貨などを取り扱っています。

18

阿波和紙

あわわし [AWA-WASHI]

徳島

和紙と革製品の
エコなコラボレーション

徳島県(吉野川市、三好市、那賀町)で生産されている和紙です。原料であるコウゾ、ミツマタ、ガンピから繊維を取り出し、「紙漉(す)き」や「紙貼り」をして仕上げます。阿波和紙の特徴は、手漉きならではの生成色と、あたたかみのあるやさしい手触りです。今回は阿波和紙とgentenがコラボレーションしたオリジナルのエコなアイテムを紹介。実際に手で触れ、和紙と革の温もりを確かめてみてください。



genten 銀座店 (ゲンテン)

確かな素材でていねいに作られた革製品だけがまとう、愛らしさや美しさ。その魅力を通じて、一つひとつのモノに愛着を持って、大切に暮らししていくことの心地よさを実感してもらいたい…。それがgentenらしいライフスタイルの提案です。



19

土佐和紙

とさわし [TOSA-WASHI]

高知

40年前の土佐コウゾを原料にした
「柿渋」で染め上げた和紙

高知県(土佐市、南国市、吾川郡いの町など)で生産されている和紙。原料であるコウゾなどから繊維を取り出し、「紙漉(す)き」をして仕上げます。土佐和紙の特徴は、豊富なバリエーションです。今回は、40年前の土佐コウゾ100%の原料を使用したヴィンテージの和紙を紹介。天然染料の「柿渋」で味わい深い色彩に染め上げた和紙は、丈夫で水に強く、防虫効果があるとも言われています。



genten monocoro GINZA SIX (ゲンテン モノココロ)

ナチュラル素材の革や生地で作られたハンドバッグ、小物、雑貨を扱うライフスタイルブランドです。伝統文化に根差した日本の職人技術を生かした商品を、幅広く取りそろえています。

20

榿細工

かばざいく [KABA-ZAIKU]

秋田

山桜の樹皮から作られる木工品と、洋食器メーカーのコラボレーション

秋田県仙北市を生産地とする、「榿」という山桜の樹皮を用いて作られた木工品です。山桜特有の美しい光沢と渋みのある色合いが特徴。硬くて丈夫、さらに防湿・防乾にすぐれているという特性を生かし、茶筒、文箱、茶筌などの製品が作られています。今回の展示では、秋田角館の榿細工と、洋食器メーカーのノリタケがコラボレーション。それぞれの特性を生かして食空間を彩る新しい提案をします。



ノリタケ・大倉陶園 銀座店

きびしい自然の中で育った山桜の樹皮が、熟練の名工たちによって、その特有の光沢を生かした「用の美」に生まれ変わります。秋田角館独自の伝統工芸である榿細工と、洋食器メーカーであるノリタケが、それぞれの特性を昇華させ、食空間の多彩な表現に取り組みます。



GINZA AND NIHONBASHI

Column

BUYERS REPORT

大阪浪華錫器 × AKOMEYA TOKYO 銀座本店 錫器のぬくもりは、職人さんたちの愛情

大阪市内の中心、どこか懐かしさを感じる住宅街の一角に、その工場はありました。まだ午前中だというのに、工場や事務所には業者の方が絶えず出入りし、とても賑やか。笑いに包まれたアットホームな雰囲気、下町ならではの人情味を感じました。作業場を見学して驚いたのは、すべての工程がコンパクトなスペースで手際よく進められていたこと。職人さんの中には20代の若い方も多く、工芸品に対する熱い思いを真剣に語る姿が印象的でした。私たちが大阪浪華錫器に触れたときに感じる温もりは、職人さんたちが商品に込めた愛情なのかもしれません。



バスケットボールほどもある大皿。店頭で展示販売する予定です。



錫のかたまりを溶かしているところ。液体になった錫は、鋳型に流し込まれて形になります。



種類ごとに並ぶ、精造された錫器。これらをロクロに固定し、カンナをかけて精巧に仕上げていきます。

ASAKUSA AND KURAMAE

浅草・蔵前エリア

懐かしい下町の風情、
古き良き伝統と新しさが共存する街



SHOP LIST

- 21 かまわぬ 浅草店 × 本場大島紬 (鹿児島)** ライフスタイル
東京都台東区浅草 1-29-6 【営業時間】10:30~19:00
TEL:03-6231-6466 <https://kamawanu.co.jp> 【期間中の休業日】無休
- 22 カキモリ × 越前和紙 (福井)** 文具専門店
東京都台東区三筋 1-6-2 【営業時間】11:00~19:00
TEL:050-1744-8546 <https://kakimori.com> 【期間中の休業日】10/21 (月)、10/28 (月)
- 23 inkstand by kakimori × 奈良筆 (奈良)** インク専門店
東京都台東区蔵前 4-20-12 【営業時間】11:00~19:00
TEL:050-1744-8547 <https://inkstand.jp> 【期間中の休業日】10/21 (月)、10/28 (月)
- 24 REN × 羽越しな布 (山形・新潟)** バッグ・革小物
東京都台東区蔵前 4-13-4 1F 【営業時間】12:00~19:00
TEL:03-5829-6147 <https://ren-webshop.com/shoplist/> 【期間中の休業日】10/21 (月)
- 25 Maito Design Works × 信楽焼 (滋賀)** ファッション雑貨
東京都台東区蔵前 4-14-12 1F 【営業時間】11:30~18:30
TEL:03-3863-1128 <https://maitokomuro.com/> 【期間中の休業日】10/21 (月)
10/28 (月)
- 26 SyuRo × 南木曾ろくろ細工 (長野)** ライフスタイル
東京都台東区鳥越 1-16-5 【営業時間】12:00~19:00
TEL:03-3861-0675 <http://www.syuro.info> 【期間中の休業日】10/20 (日)
10/27 (日)

21 本場大島紬 鹿児島 ほんばおしまつむぎ [HONBA-OSHIMA-TSUMUGI]

泥染めの技法による オーバーダイの手ぬぐい

泥で糸を黒く染める「泥染め(どろぞめ)」の技法で作られた、約1,300年の歴史をもつ奄美大島(鹿児島県)発祥の絹織物。今回は染色の部分にスポットを当て、かまわぬと金井工芸のコラボレートで新しいてぬぐいを紹介いたします。かまわぬオリジナルのてぬぐいを泥染めや藍染でオーバーダイ(後染め)した、天然染色の風合いをご覧ください。

●10/26(土) 10:30~12:00/13:30~15:00 染色ワークショップを開催
(お好きな手ぬぐいを1枚購入していただき、板締めの技術を使って染色)



かまわぬ 浅草店

暮らしに寄り添うTENUGUI SHOP。約200種類の手ぬぐいと、国内外から集めたUtensils(暮らしの道具)を集めたお店です。



22 越前和紙 福井 えちぜんわし [ECHIZEN-WASHI]

新しい和紙「浮き紙」を用いた オリジナルノート

全国一位の和紙生産地である福井県越前地方で製造されている高級和紙です。主な材料はコウゾやミツマタなどの植物で、生成色の優雅な美しさと、やさしくて温かい手触りが特徴。今回の展示では、山次製紙所が開発した「浮き紙」を用いた茶缶や箱を販売。浮き紙を用いたカキモリのオリジナルノートもそろえ、奈良時代から続いている越前和紙の新しい魅力を紹介します。

●10/26(土) 11:00~17:00・27(日) 11:00~16:00(予定)
手漉き和紙のワークショップを開催



カキモリ

書くきっかけを作る文具店。60種類の表紙、30種類の中紙、リングや留め具を選んで仕立てるオーダーノートや、作り手の思いがあふれる文具などをそろえています。自分だけの一冊、一本に出会えるようにカキモリがお手伝いします。



23 奈良筆 奈良 ならふで [NARA-FUDE]

インクとの相性を考えて、 使いやすい筆を選ぶ

日本三筆の一つに数えられ、書道筆から絵筆までラインナップしている奈良筆。その起源は江戸時代中期で、さらにさかのぼれば弘法大師が技法を中国から持ち帰ったことが始まりだと伝えられています。筆の材料には、弾力や強弱、長短が異なる十数種類の獣毛を使用。「練り混ぜ法」という技法によって、一本一本でいいに作られます。今回の展示では、インクの専門店がインクと相性の良い筆を選び、日常生活に筆を取り入れる提案をします。

inkstand by kakimori (インクスタンド バイ カキモリ)

自分の色を作るオーダーインクの店。書くときの色は、心の色。自分を表現するための色だから、100人いれば100通りの色があっていいはず。あなたの色を一滴、一滴、探し出す喜びがインクスタンドで待っています。





24

羽越しな布

うえつしなふ [UETSU-SHINAFU]

山形
新潟

落ち着いた風合いが人をひきつける 樹皮から生まれた布

シナノキやオオバボダイジュなどの樹皮から取り出した繊維で糸を作り、織り上げた布です。その特徴は、ざっくりとした手触りと、落ち着いた風合い。昔は仕事着や敷布、収納袋などの生活用品として利用されていましたが、現在はデザイン性の高い工芸品としてバッグや帽子なども生産されています。今回は、職人さんが丁寧に織り上げた羽越しな布のバッグと小物を展示販売いたします。同じ作品でも異なる、ひとつひとつの表情にぜひご注目ください。



REN (レン)

素材の風合いを重視した、主張しないシンプルな物作りにこだわるレザーバッグブランド『REN (レン)』の蔵前本店です。定期的開催しているワークショップや、民芸品の展示などを通じて、物作りの背景にふれることができるアトリエショップとなっています。

25

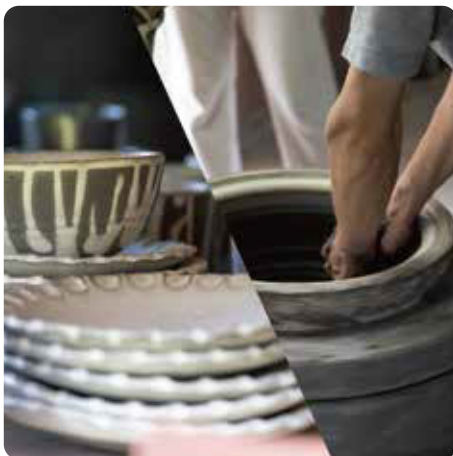
信楽焼

しがらきやき [SHIGARAKI-YAKI]

滋賀

新しい技法を取り入れながら個性を発揮！ 土の味わいを生かした器

日本六古窯の一つに数えられる、信楽地方産の陶器。赤褐色の地肌に細かな石粒などがふくまれているのが特徴で、表面に赤いまだら模様が現れる「火色」、降りがかった灰が焼きつく「灰かぶり」、灰に埋まって黒褐色になる「焦げ」などが独特の趣を与えています。今回は、土の素朴さとあたたかみを感じさせる、自然豊かな信楽の土から生まれた“私たちの生活にそっと寄り添う信楽焼”を紹介します。



Maito Design Works (マイト デザイン ワークス)

草木染めと天然素材、メイドインジャパンにこだわったものづくりをしています。化学染料を一切使わずに、草木染めだけで染色したやさしい風合いや色合いが特徴のニットやレグウェア、ストール、バッグなどを販売。店舗には染色ラボを併設しています。

26

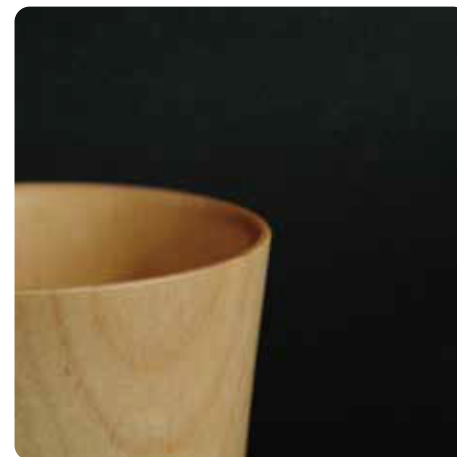
南木曽ろくろ細工

なぎそろくろざいく
[NAGISO-ROKURO-ZAIKU]

長野

木目の美しさを生かした ナチュラルで素朴な風合い

木曽で育まれた原木をろくろの上で回転させ、カンナで挽いて形を削り出した工芸品です。その特徴は、木目の美しさを生かしたフォルムと、木の温もりを感じる素朴な風合い。材料となるケヤキ、トチ、センノキ、カツラなどは「木地師 (きじし)」と呼ばれる職人によって吟味され、木目や木質に合わせて作る製品が決められています。今回は北欧と日本との良さを生かした商品を紹介。自然そのものの手触りを実感してください。



SyuRo (シュロ)

東京の下町に拠点を置いて活動する、生活日用品SyuRoの直営店です。生活の中で長く使い続けることができる道具を、日本の伝統や職人さんの技術、それらをSyuRoのフィルターを通して、日常のデザインプロダクトとして提案しています。

..... ASAKUSA AND KURAMAE

山中漆器 × プレインビープル 青山

新しい漆器の形を提案する 田園風景の中にたたずむ工房

小松空港からバスと電車を乗り継いで、約1時間。山中温泉地区ののどかな田園風景の中にある、浅田漆器工芸の工房とショップを訪ねました。ご協力をいただいたのは、山中漆器の伝統を継承しながら今の生活に調和するモダンな器を提案する、四代目の浅田明彦さん。工房では「拭き漆」の作業工程を見学し、新作の漆器の植木鉢を見せていただきました。

木地を生かすために漆を塗っては拭く「拭き漆」の作業のようす。漆を塗る職人さんの傍らには、拭き取り紙で余分な漆をふき取る職人さんがいます。器はその後、乾かされます。



仕上げ途中のお椀(手前)と、仕上がった状態のお椀の木地(奥)。木地師・濱口徹の山中漆器産業技術センター内工房にて。



艶のあるほうは生漆で2回ほど「拭き漆」された状態。マットな質感のほうはウレタン系の塗料を塗付したものです。



浅田漆器の店頭に飾られていた漆塗の自転車。非売品の一点ものです。

KAGURAZAKA NAKAMEGURO AND JIYUGAOKA

神楽坂・中目黒・自由が丘エリア

大通りにも路地裏にも
おしゃれな雑貨店やカフェが点在する街



SHOP LIST

- | | | |
|------------------|--|---|
| <p>27</p> | <p>AKOMEYA TOKYO in la kagū × 大館曲げわっぱ (秋田)
 東京都新宿区矢来町67 TEL:03-5946-8241
 https://www.akomeya.jp/store_info/store/sinlakagu/</p> | <p>ライフスタイル</p> <p>【営業時間】11:00~20:30
 【期間中の休業日】無休</p> |
| <p>28</p> | <p>SML × 小代焼 (熊本)
 東京都目黒区青葉台1-15-1 AK-1ビル1F
 TEL:03-6809-0696 https://sm-l.jp</p> | <p>ライフスタイル</p> <p>【営業時間】12:00~20:00 (月~金)
 11:00~20:00 (土・日・祝)
 【期間中の休業日】無休</p> |
| <p>29</p> | <p>品品 × 伊万里・有田焼 (佐賀)
 東京都世田谷区奥沢 2-35-13
 TEL:03-3725-0303 https://www.sinajina.com</p> | <p>盆栽・観葉植物専門店</p> <p>【営業時間】10:00~19:00
 【期間中の休業日】10/23 (水)、10/30 (水)</p> |

27

大館曲げわっぱ

おおだてまげわっぱ
[ODATE-MAGEWAPPA]

秋田

ご飯やおかずが美味しくなる 天然秋田杉のお弁当箱

江戸時代から伝わる秋田県大館市の工芸品です。天然秋田杉の薄板に曲げ加工をほどこし、山桜の皮で縫い止めをして完成します。今回は樹齢150年以上天然杉を使用した柴田慶信商店の曲げわっぱを紹介。完全無塗装のお弁当箱は、吸湿性・通気性にすぐれ、ご飯や食材の水分が適度に保たれるという逸品です。

●10/26(土) 11:00~ / 15:00~ 曲げわっぱ作りのワークショップを開催
※事前に当店ホームページからチケットをご購入ください。



AKOMEYA TOKYO in la kagū (アコメヤ トウキョウ イン ラカグ)

“一杯の炊きたてのごはんから、つながり広がるしあわせ”をテーマに、“食卓を豊かにする”お米や食料品、“上質な竹まいを感じる暮らし”を提案する道具や雑貨、そして“おいしさで満たされる至福のとき”を提案するAKOMEYA厨房、茶屋を展開。お米のさまざまな楽しみ方を発信しています。

.....KAGURAZAKA NAKAMEGURO AND JIYUGAOKA.....

28

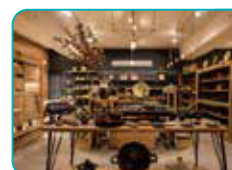
小代焼

しょうだいやき [SHODAI-YAKI]

熊本

毎日の食卓を楽しく演出 小代焼の窯元が手がけたスリップウェア

荒尾市など熊本県の北部で焼かれている陶器です。その特徴は、鉄分の多い良質な陶土を使った、素朴で力強い作風。釉薬(ゆうやく)の割合割合などによってその色合いは微妙に変化します。今回は、荒尾市にある12の窯元の中でも最大の6袋の登窯をもつ、小代焼の窯元、ふもと窯が手がけた「スリップウェア」(粘土と水を混ぜたクリーム状の泥で模様を描いた陶器)を紹介します。毎日の食卓を楽しく演出してくれる器たちです。



SML (エス エム エル)

後世まで大切に伝え残したいもの…、人々の生活に合わせて変化していくもの…。陶磁器、硝子、木工、型染など、日本各地の工芸品を取りそろえています。



29

伊万里・有田焼

いまり・ありたやき
[IMARI/ARITA-YAKI]

佐賀

人々の心を豊かにする
「景色盆栽」の自然美

透き通るような白い磁肌と、藍色の呉須(びす)で描いた染付け、華やかな絵付けが特徴の磁器です。表面がなめらかで、硬くて丈夫なので、普段づかいの器に最適。白磁の透かし彫り技術や釉薬(ゆうやく)に工夫を凝らした鑑賞用の芸術作品も多数あります。今回は伊万里・有田焼の伝統技術を用いた「景色盆栽」を展示。現代の生活に調和する盆栽鉢や、植物を飾るための“しつらい”の品も紹介します。



品品

「景色盆栽」というモダンな盆栽を扱う専門店です。現代の生活と伝統を結びつけ、植物によって人々の心を豊かにしたい。そんな願いをもって、自由が丘の閑静な住宅地から「景色盆栽」の魅力を伝えています。

KAGURAZAKA NAKAMEGURO AND JIYUGAOKA

Column

BUYERS REPORT

小石原焼 × sarasa design lab 青山店

伝統を守りながらも
新しい試みにチャレンジ!

福岡市内からバスを乗り継ぎ2時間。小石原焼の郷は自然豊かな山間にありました。国道沿いに建ち並ぶのは、独特の風情を見せるたくさん窯元。カネハ窯はそこからは少し離れたところに登り窯と販売所を構えていました。ここで作られて販売されている工芸品は、伝統的な模様が描かれた「飛び鉤(かんな)」から、デザイン性の高いフォルムの器まで多種多様。その豊富なラインナップからは、伝統を守りながらも新しい試みに挑戦し、ものづくりを後世に伝えていきたいという強い意思を感じました。



カネハ窯は「半農半陶」の窯元。自社の土鍋と合わせて、飯碗や新米を販売する展開も予定しています。



稲穂が実る水田に囲まれた工房。ゆったりとした時間が流れていました。



吉祥寺・代々木上原・成城エリア

都心から近いのに緑が多く、
散策にも買い物にも便利な憧れの街



SHOP LIST

- | | | |
|----|--|--|
| 30 | MARKUS × 丹波立杭焼(兵庫)
東京都武蔵野市吉祥寺本町2-18-15 武蔵野カントリーハイツ112号
TEL:0422-27-2804 http://marku-s.net/ | ライフスタイル
【営業時間】11:00~20:00
【期間中の休業日】無休 |
| 31 | Roundabout × 雄勝硯(宮城)
東京都渋谷区成城3-7-12 B1
TEL:03-6407-8892 http://roundabout.to/ | ライフスタイル
【営業時間】12:00~20:00
【期間中の休業日】10/22(火)
10/29(火) |
| 32 | HANSEL & GRETEL 成城本店 × 砥部焼(愛媛)・天草陶磁器(熊本)
東京都世田谷区成城6-5-34 成城コルティ 2F
TEL:03-5429-2525 https://store.world.co.jp/s/brand/hansel-and-gretel/ | ライフスタイル
【営業時間】10:00~21:00
【期間中の休業日】無休 |



30

丹波立杭焼

たんばたちくいやき
[TAMBATACHIKUI-YAKI]

兵庫

さまざまな技法をほどこした 個性豊かな器

日本六古窯の一つに数えられる、兵庫県を代表する陶器です。今回は、衣食住にまつわるモノの中でも、日本各地に伝え残されている手仕事による品々、現代の生活に取り入れていきたい素朴な味わいのある器を紹介。およそ60軒ある窯元の中から、若手からベテランまで6軒にご協力いただき、伝統的なやわらかい白い発色の糠釉（ぬかゆう）から、色とりどりの鮮やかで現代的な器、面取りやしのぎ、イチチン、スリップなど、さまざまな技法をほどこした個性豊かな品をそろえました。



MARKUS (マルクス)

理想の暮らし・ちょっといい暮らしを実現するための、きっかけやヒントとなるお店です。現代の生活の中に取り入れたい品や、次の時代に残していきたい手仕事を、その背景にある物語と共に紹介します。

31

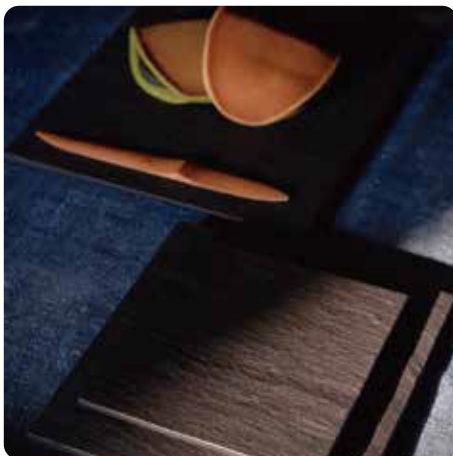
雄勝硯

おがつすずり [OGATSU-SUZURI]

宮城

雄勝産の粘板岩で作られた 黒色のなめらかなテーブルウェア

宮城県石巻市雄勝町にて産出される純黒色の雄勝石は、圧縮や曲げに強く給水率が低い性質と、経年劣化が起きづらいという特性から、古くは硯石として、近代においては建築資材としても親しまれています。今回は、雄勝石で作られたテーブルウェアなどを展示。昔ながらの製法で作られた雄勝石のプレートに触れて、ひんやりとした石肌の質感を味わってください。



Roundabout (ラウンダバウト)

代々木上原の住宅街の地下空間に、国内外のすぐれた生活用品が並びます。今回は、雄勝石を素材としたテーブルウェア、オリジナルのソーブディッシュなどを展示。吉祥寺にある姉妹店「OUTBOUND」では、手仕事の展覧会も開催します。

32

砥部焼

とべやき [TOBE-YAKI]

愛媛

実用性・芸術性が高い あたたかみのある、なめらかな白磁

砥部焼は、愛媛県砥部町やその周辺で焼かれている、愛媛県を代表する陶磁器です。やや厚手の白磁に、「呉須（ごす）」と呼ばれる藍色の図案が描かれているのが特徴。丈夫で重量感があるため実用性が高く、食器や花器など普段使いの製品が多く作られています。最近では新しい感覚の絵付けがほどこされたカジュアルな作品も数多く登場しています。今回の展示では、手作りと手描きにこだわり、長く愛される砥部焼の器を紹介します。



天草陶磁器

あまくさとうじき [AMAKUSA-TOJIKI]

熊本

静かに日常に寄り添える、 シンプルで飽きのこない器

天草陶磁器は、良質な陶石と陶土が産出される天草地方で作られた磁陶器です。天草には30数軒の窯元があり、それぞれ個性のある製品が作られています。今回はその中から、色も形もシンプルでありながら、使いやすさにこだわったあたたかみのある天草陶磁器を厳選して紹介します。



HANSEL & GRETEL 成城本店 (ヘンゼル & グレーテル)

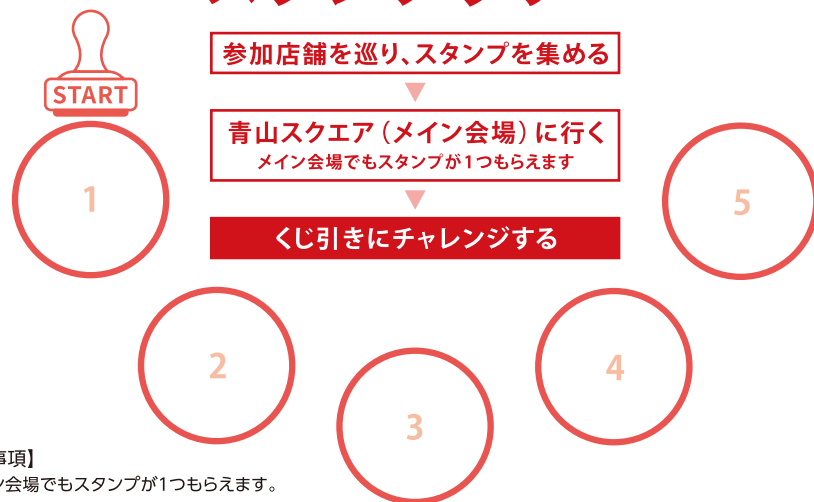
子供たちにとって生涯の記憶に残るような品々を、世界中から集めたライフスタイルショップです。お祖母さんからお孫さんへ、お母さんからお子様へ、昔から受け継がれる伝統を、モノを通じて伝承していくお手伝いをしていきます。

Stamp Here

巡って、集めて、プレゼントをもらおう！

スタンプ5個で
くじ引き1回チャレンジ！

スタンプラリー



【注意事項】

- メイン会場でもスタンプが1つもらえます。
- お買い物をしなくてもスタンプはもらえます。
スタンプは各店舗のスタッフにお声がけください。
- 1人が1店舗で押せるスタンプは1つです。
- プレゼントはくじ引きで決定し、ご希望のものになるとは限りません。
- プレゼントの交換・換金はできません。
- プレゼントの数には限りがあり、なくなり次第終了となりますので予めご了承ください。
- プレゼントの交換は会期中（10/18～10/31）のみとなります。

※10/22（火）は青山スクエアが休館日となります。

また、初日の10/18（金）は12時開館、最終日の10/31（木）は18時閉館です。

工芸品を
買う
↓
くじが1回
ひけます

工芸品をご購入いただくと
「くじ引き」に1回チャレンジできます。

イベント期間中に指定商品（JTCW参加産地の商品・コラボ商品）
をご購入頂くと、くじ引きに1回チャレンジできます。

●日付: / ●店舗名

スタンプラリー・プレゼント景品

※ほかの工芸品もご用意しています。



●砥部焼（愛媛県）



●庄川挽物木地（富山県）



●小石原焼（福岡県）



●久留米絨（福岡県）



●越中和紙（富山県）

お気に入りの伝統工芸品を撮影して
Instagram賞に応募しよう！



■参加方法/投稿の仕方

あなたの好きな工芸品の写真を撮って、自身のInstagramで工芸品の魅力を伝えてください。
撮影した写真にハッシュタグ「#jtcw2019」をつけてInstagramに投稿いただくだけで参加できます。
工芸品名がわかるように、ご投稿ください。投稿写真は「jtcw」サイトに掲載されます。ご投稿された中から
素晴らしい写真には、「優秀賞」「Instagram賞」を認定し、「青山スクエアの商品券」をプレゼントいたします。
ふるってご投稿ください。

【応募期間】2019年10月18日～31日まで ＊お一人様何回でもご参加・投稿いただけます。

【受賞者発表・プレゼント】会期終了後に事務局で受賞者を選定し、ホームページで発表いたします。